

## 指定管理者のモニタリングに係る外部評価の結果

枚方市立総合福祉会館指定管理者のモニタリングが適正に行われているかの評価（外部評価）について、枚方市立総合福祉会館指定管理者評価委員会（以下「評価委員会」という。）に諮り、慎重に調査・審議された結果、下記のとおり評価されました。

### 記

#### 1. 対象施設

施設名称	枚方市立総合福祉会館
指定管理者	HUG 共同事業体
施設所管部署	健康福祉政策課

#### 2. 評価結果

モニタリングは適正（適切）に実施されている。

#### 3. 評価委員会からの主なコメント

- ・モニタリングは適正に実施されており、委員からの質問事項についての回答も適切であった。
- ・指定管理者については、無料 Wi-Fi の設置など、施設の利用者増加の為の施策等を考えて運営されているものの、ヒアリングでの回答内容については具体性にやや欠けるところがあった。明確な目標、目的を意識しながら、事業に取り組んでいただきたい。
- ・総合文化芸術センターとの連携における「連携」という言葉の定義、解釈が不明確であった。もう少し厳密に指定管理者の回答を確認しても良いのではないか。
- ・障害者法定雇用率の達成に向けては、具体的な方針が挙げられていた。今後も雇用率の達成状況に注視が必要である。また、さらに具体的な計画にステップアップされることを期待する。
- ・指定管理者選定時に市が設定した確認事項 7 に用いられている「枚方市が目指している地域福祉の今後の方向性」の意味が不明確である。次回の指定管理者選定時に確認事項を設定する際には整理が必要。
- ・新型コロナウイルス感染症や施設設備の故障などにより、会館やプールの使用実績が一部平常時と異なっており、入館者数や経費に影響しているため、モニタリングも難しい部分があったと思われるが、引き続き適切な施設運営となるよう期待する。
- ・今後、枚方市の人口は減少傾向にあり、高齢化が進むことが考えられる中で、これまでと同じような感覚では利用率の横ばいもしくは低下を招くことも懸念される。これまでの感覚にはとらわれず、若年層の意見などもどんどん取り入れながら新しい会館づくりを目指していただきたい。

#### 4. 審議等の経過

令和5年12月25日	評価委員会への諮問 第1回評価委員会 開催
令和6年1月30日	第2回評価委員会 開催 評価委員会からの答申
令和6年3月7日	評価結果の決定